

北区独自のくらし応援臨時交付金 など実現へ

北区が 児童一人あたり3万円 特例給付対象外の 児童手当 独自に給付

補正予算

9/1 全員協議会で令和4年度補正予算案(第3号)が説明されました。コロナ第7波、物価高騰と、区民の暮らしや営業の困難が増している中、北区の一般財源を約22億円投入し総額約68億円。日本共産党北区議員団がこれまで予算組み替え動議や、議会議論戦などで要請してきたものが多数実現しています。(本田正則)

北区独自のくらし応援臨時交付金

区独自に**5万円**を給付する「くらし応援臨時給付金事業費」(約3億9542万円)が計上されました。これは国の「生活支援臨時特別給付金」、いわゆる10万円の給付金の支給対象外の世帯のうち、住民税均等割のみ課税世帯(3500世帯)、非課税(課税者の扶養親族等のみ)世帯(3500世帯)が対象。日本共産党議員団の要望が実ったものです。

特例給付対象外の児童手当も北区が独自に児童一人あたり3万円を支給

子ども医療費助成18歳まで無料とうとう通院も！

北区では他自治体に先がけて、高校生まで医療費無料(入院まで)が実施されています。日本共産党が継続して求め続けてきた「高校生までの医療費無料制度(通院も入院も)制度が、2023年4月から、東京都の制度として実施されることになりました。

補正予算ではシステム改修費2200万円を計上

東京都が、対象を拡大。これまでより所得の多い人も対象に。高校、大学などの受験に向けて塾代や受験費用の一部を補助する制度が拡充されます。窓口は北社会福祉協議会。対象拡大を見込み、増額となりました。

本田正則議員

9月12日 午前10時 本会議質問

平和事業の充実 補聴器助成の実現
地域の諸課題

- 上中里・西ヶ原高台の買い物難民問題
- 高齢者入浴補助券充実と銭湯支援
- 田端駅南口に人道跨線橋など

●ご相談はお気軽に
090-9240-8066

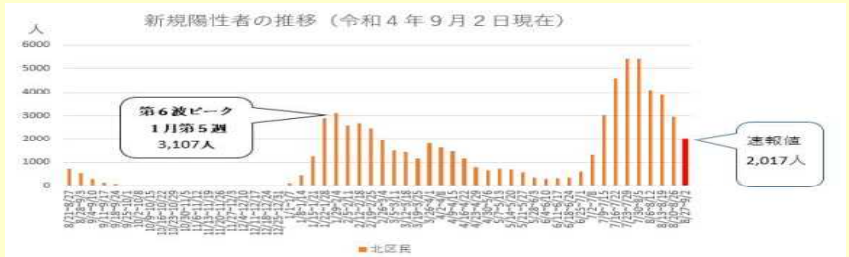


物価高騰の影響を緩和



エネルギーコスト等の上昇に伴う影響緩和策として、介護・障害者施設、保育園、幼稚園、認定こども園などに一定の給付を行う。

●新規陽性者数(北区民)



宿泊療養	179人	8/19現在
自宅療養	4654人	8/17現在
入院待機	23人	8/22.9AM

⇒

133人	9/2現在
2310人	9/2現在
1人	9/2現在

公衆浴場への補助増額



原油価格の高騰等に伴い燃料費負担が大きい区内公衆浴場を支援するため、一部公費の投入で、燃料費負担の軽減を図る。

日本語学級を再編・拡大



外国人児童の増加や地域偏在などから、日本語学級を再編し、3学級から5学級に拡大するため、学級開設のための整備費を計上。

子ども食堂支援の拡充



ウクライナ危機に伴う緊急支援策を踏まえ、新たな子ども食堂の立上げや支援の拡充（食材費の充実も含む）を行う団体を支援。

受験生チャレンジ支援



受験生チャレンジ支援事業について、都の事業拡充を受け、申請件数の増加が見込まれるため、相談・受付委託に係る経費を増額。



9/5 安部元首相へ弔意表明を要請しないことを 区長、教育長へ申し入れ

区民施設や学校現場に、弔旗掲揚や黙祷など、職員などや、児童、生徒、教職員に対し、安倍元首相への弔意表明を要請しないことを求める申し入れを、福田光一議員(新社会党)と、党北区議員団連名で、区長、教育長へ行いました。

「国からは現在、通知や支持はいっさい来ていない。動向を注視し適切に対処する」と区長。教育長も「国から通知は来ていない」と応じました。

議員団からは、この間の地域の様子や声も紹介。内心の自由にかかわり、税金の使い方としても不適切と、重ねて要請しました。

区議会第3回定例会 日本共産党北区議員団の本会議質問



代表質問

9/9

(金) 13:30頃

野口 まさと 議員



個人質問

9/12

(月) 10:00頃

本田 正則 議員



個人質問

9/12

(月) 11:00頃

さがらとしこ 議員